

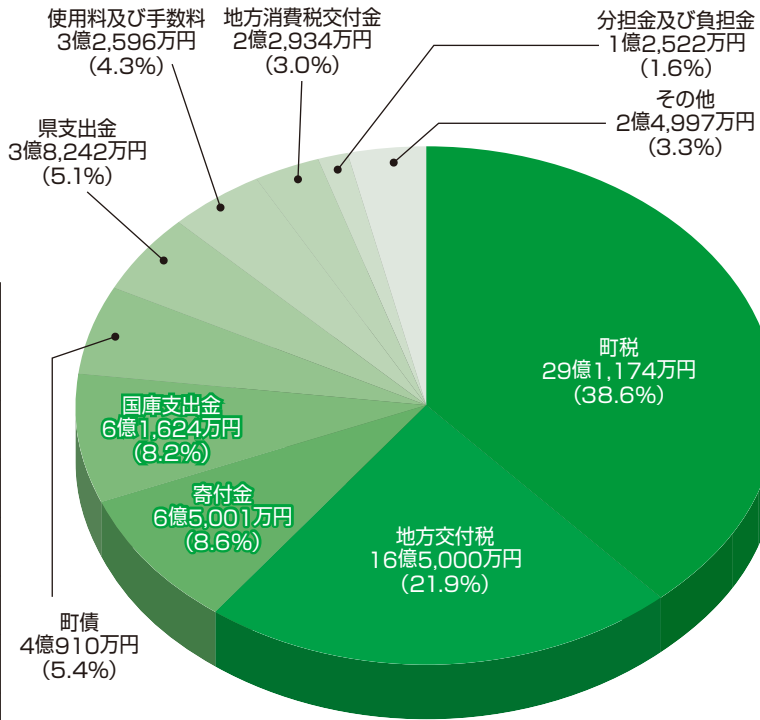
平成26年度予算

3月に行われた町議会第1回定例会で平成26年度当初予算が承認されました。本予算は「くらし満足度」県内1位をめざし「ふるさと王寺まちづくりビジョン」に基づき政策を着実に推進するため、必要な予算を積極的に計上すると同時に、健全財政の堅持と持続可能な財政運営を心掛けた予算編成となっています。

歳入

会計別予算額

| 区分 | 予算額 | 対前年比率(%) | |
|---------|-------------|------------|-----|
| 一般会計 | 75億5,000万円 | 20.5 | |
| 特別会計 | 52億1,752万円 | 3.8 | |
| 特別会計の内訳 | 国民健康保険特別会計 | 23億6,000万円 | 0.5 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 2億8,180万円 | 4.3 |
| | 墓地取得特別会計 | 132万円 | 0.0 |
| | 介護保険特別会計 | 16億7,940万円 | 9.3 |
| | 下水道事業特別会計 | 8億9,500万円 | 2.7 |
| 合計 | 127億6,752万円 | 13.0 | |



一般会計 75億5,000万円

歳出

水道事業会計予算

| | | 予算額 | 対前年比率(%) |
|-----|----|-----------|----------|
| 収益的 | 収入 | 6億7,014万円 | 12.3 |
| | 支出 | 5億6,307万円 | 12.0 |
| 資本的 | 収入 | 1億6,533万円 | 5.2 |
| | 支出 | 2億613万円 | 26.8 |

収益的収支

給水戸数9,243戸で年間総配水量251万3千m³を見込んでいます。

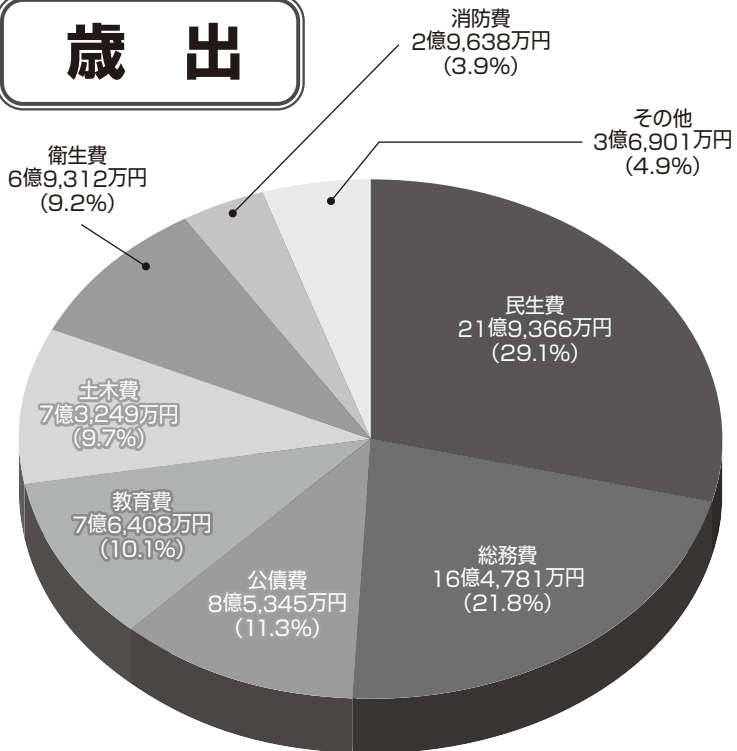
収入では、6億7,014万円、主なものは給水収益の5億9,856万円となっています。

支出では、5億6,307万円で、主なものは県営水道の受水費で、年間総配水量の約58%にあたる147万m³、1億9,633万4千円を計上しています。

資本的収支

収入では、1億6,533万円で、主なものは新設加入金、国庫補助金及び投資償還金です。

支出では、2億613万円で、配水管布設工事費や企業債償還金、投資が主なものです。



歳出 その他の内訳

| | |
|-----------|------------------|
| 農林商工費 | 2億56万円 |
| 議会費 | 1億1,841万円 |
| 予備費 | 5,000万円 |
| 諸支出金 | 2万円 |
| 災害復旧費 | 2万円 |
| 合計 | 3億6,901万円 |

～王寺町を「暮らし満足度」県内トップにするために～

「ふるさと王寺」のまちづくりビジョン

平成26年度一般会計予算等について
主な内容を紹介します

防災・減災



地域防災計画を改定

平成25年度に実施した基礎調査をもとに、奈良県地域防災計画と整合を図りながら、王寺町地域防災計画を改定するとともに、防災フォーラムを開催します。

王寺町地域防災計画改定業務
356万円

防災訓練を実施

防災意識の普及・高揚と、初動体制をはじめとした連携体制の強化を図るため、グラウンドを利用した訓練のほか、避難所単位での避難訓練を実施します。

防災訓練
200万円



災害時の拠点である 役場庁舎の耐震補強

地震等の災害時に、災害対策本部として機能する役場庁舎について、平成25年度に実施した耐震診断の結果を踏まえ、耐震補強工事を実施します。

役場庁舎耐震補強工事
2億3,400万円



地域における防災・ 減災活動を支援

自主防災組織は、現在52自治会中39自治会で設立されています。更にその設立を促進するとともに、既設の組織についても、防災資機材の一層の充足が図れるよう、3年間（平成26～28年度）に限り補助率の引き上げ（補助率 1/3→1/2）を行います。

自主防災組織への支援
300万円

園児を災害から守る

北幼稚園及び南幼稚園の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り付け（王寺幼稚園は強化ガラス設置済み）、地震や竜巻等による窓ガラスの破片の飛び散りを防止します。

ガラス飛散防止工事
226万円

災害関連情報等を メール配信

災害発生時における住民の生命と財産を守るため、避難勧告などの緊急情報等を、あらかじめ登録された方のパソコンや携帯電話へ送信します。

登録制メール配信サービス
37万円

防 犯

防犯灯のLED化を促進

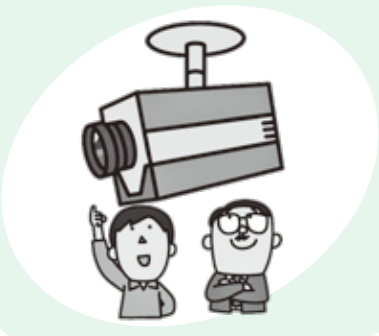
維持管理の負担軽減と環境に配慮した取組みとして、自治会での防犯灯のLED化を促進していただくため、3年間(平成26~28年度)に限り補助率の引き上げ(補助率 2/3→3/4)を行います。

自治会防犯灯LED化の促進
860万円

王寺駅周辺に防犯カメラを設置

昨年度の王寺駅北側に引き続き、王寺駅南側に、防犯カメラを設置し、駅周辺の犯罪抑止力を強化します。

防犯カメラの設置
200万円



高齢者とこどもに安心を

犯罪から高齢者や子どもを守る緊急時の避難場所として、町内約1,000箇所に設置している「老人・こども110番の家」の旗の更新等を行います。

「老人・こども110番の家」の旗
90万円



安全・安心のまちづくり

安 全

生活道路の安全確保

平成25年度に実施した道路の路面調査の結果をもとに、生活道路の3路線の改良工事を実施します。

路面性状調査に基づく改良工事
3,800万円



より安全な畠田駅に

JR畠田駅のホームの屋根は駅舎付近の2両分のみで雨天時、人が集中し電車への接触などの危険性があるため、新たに2両分の屋根を町が設置し、利用者の安全を確保します。

JR畠田駅
ホーム上屋延長工事
2,200万円

駅の安全性の向上に向けて

視覚障がい者の方のホームからの転落を防止するため、近鉄が行う王寺駅ホームの内方線付点状ブロックの張り替え及び転落防止柵の設置費の1/6を町が補助します。

鉄道駅バリアフリー整備事業補助
175万円

健康

住み続けたいまちづくり

受診の利便性を向上

集団検診のみで実施していた肺がん検診について、平成26年度から、受診者の利便性を高め、一人でも多くの方に検診を受けていただけるよう、医療機関で受診できる個別検診を実施します。

肺がん個別検診
51万円



街中で気軽に健康チェック

リーベル王寺東館5階地域交流センター内に「奈良県健康ステーション」を9月から開設します。最新の機器による健康度チェックができるよう、県と連携して健康づくりを支援します。

奈良県健康ステーション事業
165万円



「歩く」ことで健康づくり

「健康長寿県下1番」をめざして、多くの人に歩いて健康づくりに取り組んでいただけるよう、6月から「ウォーキング実践教室」を開講するほか、年1回家族みんなで参加できる「ファミリーウォーク」を開催します。また、毎週土曜日と月2回の平日に、保健センターで、血液検査等による定期的な健康チェックが受けられるコーナーを開設します。

「ぐるっと王寺」
健康ウォーク事業
238万円

人間ドックの費用負担を軽減

国民健康保険の被保険者を対象とした「人間ドックの検診費用の一部助成制度」を創設します。普段、気がつきにくい疾病、臓器等の異常の早期発見・早期治療につなげ、健康の保持増進を支援します。

人間ドックの検診費用助成
400万円

路上喫煙のない駅前広場に

「王寺町路上喫煙の防止に関する条例」が制定され王寺駅周辺を「路上喫煙禁止地区」に指定します。7月からの実施に向けて、告知看板、路面標示の設置、啓発チラシの配布を行い、タバコのポイ捨てのない、きれいな王寺町をめざします。

路上喫煙防止事業
116万円

「がん」の早期発見に向けて

子宮頸がん検診・乳がん検診の対象者に、個別通知での受診勧奨と、後日に未受診者への再勧奨を行うことで、「がん」の予防、早期発見に向けて受診率の向上を図ります。

コール リコール事業
189万円



福祉

第6期介護保険事業計画の策定

介護保険の円滑な運営に向けて、「高齢者福祉ハートフルビジョン研究会」などの将来推計結果をふまえて、介護保険拠点施設の整備を含めた事業計画を策定します。

第6期王寺町介護保険事業計画
290万円

認知症予防への対策

認知症に関する出前講座の開催や認知症無料相談窓口を設置するなど、認知症の方を地域で支え合うことへの啓発に加え、平成26年度は、新たに、認知症の専門医による講演会を開催し、さらに認知症への理解を深めていきます。

認知症予防施策の推進
16万円

地域福祉計画を策定

住民の方やボランティア団体など地域福祉のさまざまな担い手の参画のもと、地域課題解決の仕組みづくりなどを定めた、「王寺町地域福祉計画」を策定します。

王寺町地域福祉計画策定事業
199万円

小・中学校にみんなにやさしいトイレを設置

災害時の避難所にも指定されている王寺小学校、北小学校、王寺中学校において、高齢者や障がい者の方が利用しやすいユニバーサルトイレ（多目的トイレ）を新設します。また南小学校においては、設置済のユニバーサルトイレに、温水洗浄機能付きの便座の取り付けを行います。（南中学校は整備済）

ユニバーサルトイレの設置
1,161万円

公共施設の充実

年内にハローワークを誘致

住民ニーズとして「雇用」に対する関心が高いことから、地域交流センター内に「ハローワーク」を誘致するための準備工事を行います。

ハローワーク開設準備工事
772万円

オープンカフェを開設

リーベル王寺東館5階から眺望を見ながら、喫茶や交流が楽しめるように、地域交流センター内にオープンカフェ開設に向けた準備工事を行います。

オープンカフェ開設準備工事
700万円

図書館の本の貸出予約をインターネットで

図書館システムの更新に合わせ新しいサービスとして、ホームページ上で貸出中図書の前予約や貸出期間の延長申請を受け付け、利用者の利便性の向上を図ります。

図書館システム更新
918万円

住み続けたいまちづくり

（仮称）久度地域コミュニティセンター建設に向けて

老朽化した中央公民館を解体し、地域のコミュニティ機能、消防団の屯所や備蓄倉庫などの防災機能のほか、レストランを誘致するなど、憩いの場、賑わいの場として、気軽に住民の方が利用できる施設の建設に向け、地域にふさわしい、多目的な拠点施設となるよう整備計画を検討します。

観光・賑わい

住み続けたいまちづくり

花が咲きほこる 葛下川に

平成25年度に策定した王寺町植栽計画に基づき、葛下川（薬王橋～阿弥陀橋間）の堤内に桜40本とアジサイを植樹して、春から初夏にかけて、散策が楽しめる環境を整備します。

葛下川植栽工事
312万円

雪丸でまちを元気に!

王寺町観光・広報大使「雪丸」を活用した啓発グッズの作成や着ぐるみでのイベントへの参加など、観光と商工業の振興を図るための補助を行います。

雪丸実行委員会補助
540万円

王寺町に観光客を

多くの方がまちを行き交う「賑わいの創出」ができるよう、王寺町とその周辺地域の文化・歴史・自然・景観などの資源を活用した、観光事業の推進に向けて、「王寺町観光協会」を設立します。

王寺町観光協会運営補助
300万円

大和川水辺空間の 魅力づくり

国土交通省大和川事務所、三郷町と連携して、大和川の両岸の親水空間を活用したジョギングロード、花回廊、イベントの開催など、どのような活用がふさわしいのか、可能性も含め、今後の利活用を検討します。

(仮称) 大和川利活用検討懇談会
5万円

歴史ある王寺町を 知ってもらうために

王寺町の歴史について、誰でも分かりやすく知ることのできる冊子を作成し学校等に配布します。また、地域交流センターで、歴史や文化をテーマにした「リレー講座」を開催します。

「王寺町の歴史」冊子作成・
歴史リレー講座
80万円

まちづくり

国土調査を実施

土地境界をめぐる紛争などを未然に防ぐために、計画的に地籍調査を実施します。平成26年度からの3カ年計画で、まず畠田1丁目～畠田4丁目地区の調査を実施します。

地籍調査(国土調査)事業
4,184万円

若いアイデアで 王寺駅に賑わいを

まちの「賑わいの創出」に向けて、平成25年度に奈良県立大学と王寺町が締結した協定に基づき、王寺駅前を活性化させるための計画を作成します。

王寺駅周辺活性化研究会補助
100万円

畠田駅までのアクセス の改善に向けて

JR畠田駅までのアクセスがもっと安全により便利になるよう、国道168号の拡幅に合わせた駅前広場の整備に向け、都市計画の変更及び、国の事業認可に向けた基本設計を行います。

JR畠田駅前広場整備
基本設計業務
1,200万円

住民主体のイベントを開催

郷土への愛着、王寺町の良さを実感してもらうとともに、地域の絆、交流、賑わいを創出し、継続して開催できる住民主体のイベントを実施します。

まちづくりイベント
500万円

教育

幼稚園から中学校まで一貫した英語教育

町立幼稚園と町立小学校に通う園児・児童が、外国人講師とのコミュニケーションの機会を増やすことで、英語への親しみが増し、英語を聴く、話す力が向上していくことをめざします。

幼稚園・小学校の英語力強化
461万円

幼稚園で預かり保育を実施

希望により、町立幼稚園の教育時間終了時から午後4時まで、預かり保育を2学期から実施し、育児に要する時間の軽減を図ります。

幼稚園の預かり保育
197万円

子育て

「子ども・子育て支援事業計画」を策定

昨年実施したニーズ調査結果を基に、幼児期の学校教育・保育など、地域の子育ての一層の充実を図るため、子ども・子育て会議において「提供体制の確保」「実施時期」等を盛り込んだ計画を策定します。

「子ども・子育て支援事業計画」策定
239万円

保育園の保育料を減免

保護者の経済的負担を軽減するため、在園の第2子目のうち、特に保育料負担が高い0歳から2歳児の保育料を減免します。

在園第2子目の保育料減免
減免額見込 **1,339万円**

学童保育を拡充

仕事と子育ての両立を応援するため、各小学校での学童保育の保育時間及び開所日を拡充します。

・保育時間

平日（放課後）

午後5時まで



午後6時まで

毎週土曜日・夏休み等の学校休業日

午前9時から午後5時まで



午前8時30分から午後6時まで

・土曜の開所日

第3土曜日のみ開所



毎週土曜日開所

※保育料

月額3,000円（第2子以降、要保護・準要保護世帯は減免）

学童保育事業
1,326万円

未来を担う人づくり

ロタウイルス

ロタウイルス胃腸炎の発生を予防するため、重症化の危険性が高い生後6週から32週までの乳児に対する、ワクチン予防接種の一部を助成します。（補助率 接種費用の1/2、上限1回当たり7,000円）

ロタウイルス予防接種費用助成
180万円

おたふく風邪

ムンプスウイルスによる感染症の発症を予防するため、1歳から小学校入学前までの乳幼児に対するワクチン予防接種の一部を助成します。（補助率 接種費用の1/2、上限1回当たり3,000円）

おたふく風邪予防接種費用助成
185万円

B型肝炎

肝障害を引き起こし、慢性化のおそれのあるB型肝炎の発症を予防するため、0歳から小学校入学前までの乳幼児に対するワクチン予防接種の一部を助成します。（補助率 接種費用の1/2、上限1回当たり3,000円）

B型肝炎予防接種費用助成
654万円

予防接種費用を助成

子どもの健康

教育ビジョンの策定

将来の王寺町を担う子どもたちが、未来に向かって健やかに成長していくよう、確かな学力、豊かな心、たくましい体をバランスよく育てることを目標に「教育ビジョン」を策定します。

「教育ビジョン」の策定 **313万円**

十津川村での 体験活動を実施

未来を担う子どもたちが、変化の激しい社会の中で、たくましく生き抜く力を育成することを目的に、十津川村での農家民泊を中心とした農村体験と、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を散策する「十津川村体験活動」を実施します。

十津川村体験活動
40万円

行財政改革を着実に推進

少子高齢化の進展や多様化する住民ニーズに対応するため、既存事業の見直しや公平な受益者負担などを含め、将来を見据えた持続可能な施策、また新たな時代にふさわしい行政サービスの提供に向け、行財政改革を推進します。

【平成26年度における主な見直し】

○やわらぎの手帳優遇措置事業

(満70歳以上の方は次の3つの事業のうち1つを選択)

外出支援のためのやわらぎの手帳優遇措置事業の見直しを実施します。

・高齢者優待バス運賃補助
一回利用につき利用者負担100円

・高齢者優待JR運賃補助
年間8,000円から5,000円に運賃補助を縮小
(平成27年度から廃止予定)

・**新**高齢者優待タクシー運賃補助

バス路線の無い地域の方や、駅やバス停まで歩くことが困難な方などへのきめ細かな施策として、タクシー運賃補助を開始します。

年間8,000円(400円優待券20枚)の運賃補助を実施

○福祉タクシー運賃補助

要介護2以上の在宅の65歳以上の高齢者について、高齢者のみの世帯に限らず在宅すべての方に拡大します。

○高齢者優待入浴補助事業

一回利用につき利用者負担100円

○片岡の家・老人福祉センターの入浴施設の利用

一回利用につき利用者負担100円

※高齢者施策の見直しの主旨は「施政方針」12～13ページをご覧ください。

王寺町 新総合計画を策定

昨年実施の「住民意識アンケート」による町の施策の重要性や満足度の結果などを基に、まちづくりの基本理念や将来像と、実現するための施策を示した計画を策定します。

新総合計画策定
131万円

上下水道料金の 改定を検討

上水道の安定供給や下水道の将来的な健全運営をめざし、浄水場の耐震診断結果や下水道施設の長寿命化計画の見直し等、今後の整備計画を踏まえた財政シミュレーションを作成し、適切な料金改定を検討します。

財政シミュレーション作成委託
789万円